



未来を夢見て Season 2

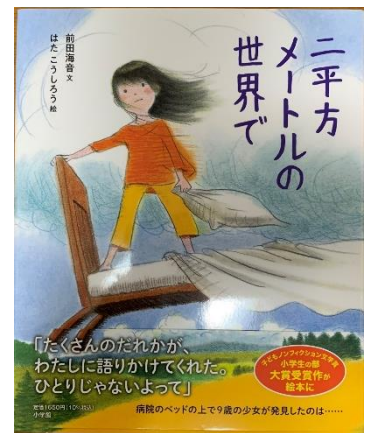
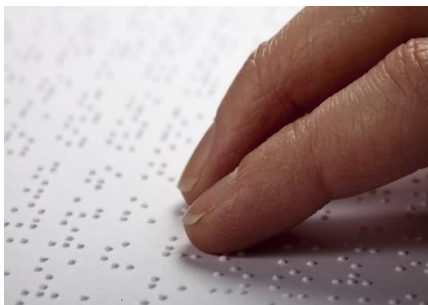
2021/11/9 No. 108

特別授業 「生きていることのすばらしさは気づきにくい」

11月7日(日)、暦の上では立冬です。ただ、朝から11月とは思えないとてもよいお天気となりました。日曜日ですが、校庭では「花ボランティア」の皆さんにお集まりいただき、校舎前の花壇にパンジーを植えていただきました。昨日登校してきた子供たちも生まれ変わった花壇に目を奪われたものと思います。花ボラの皆さんの活動は今年で25年目を迎えたそうです。花壇の作業を終えた後には、25年を記念した事業についても話題になりました。



11月8日(月)、6年生の宮床中学校見学会が行われました。6年生の皆さんは先輩方の授業や部活動での様子からたくさん学び、刺激を受けたものと思います。校長室で阿部朋樹校長先生と子供たちの様子をお話しさせていただきました。宮床中学校の生徒さんのよさは何と言っても挨拶です。私は朝に生徒さんとお会いする機会が多いのですが、気持ちのよい挨拶が自然とできるのでいつも感心していました。中学生のよいところは、小学校でもぜひ真似をしたいものです。



さて、明日の3年1組さんから特別授業を始めさせていただきます。内容は「点字」と「二平方メートルの世界で(作文)」の二本立てです。「点字」については、それを教えるのではなく、私が関心をもった経緯や点字の簡単な仕組み、身の回りのバリアフリーなどに気付かせたいと思います。授業では、子供たちに私が打った点字にも実際に触れさせたいと思っています。

また、「二平方メートルの世界で」は、ノンフィクション大賞を受賞した前田海音さんの作文です。写真は、その作文をもとに絵本作家のはたこうしろうさんが絵を描きできあがった絵本です。授業では海音さんの作文について、ネットに公開されている絵や写真を紹介しながら内容を伝えたい、と思います。

毎日の生活の中で、私自身も生きていることが当たり前と思えたり、他の人と比べてしまったりすることが多々あります。海音さんは「生きていることの素晴らしさに気付かないことが多いから用心した方がよい(作文)」と述べています。子供たちには、病気と戦いながらも前向きに生きようとする海音さんの姿勢から、同じ小学生(現在は5年生)として、その子なりに何かを感じてほしい、と願っています。

(文責：手代木)